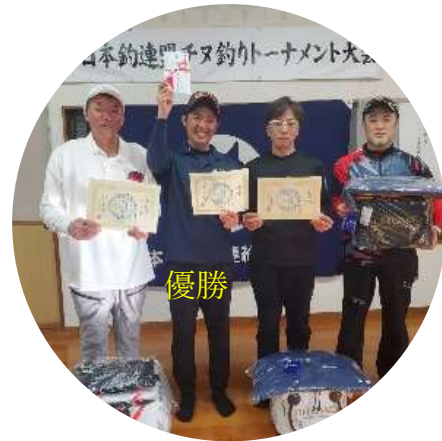


第7回日釣連チヌ釣りトーナメント大会 優勝 兵庫県釣連盟 新開 昂



令和6年4月14日(日曜日)に日本釣連絡協議会 第7回チヌ釣りトーナメント大会が和歌山の目良渡船さんにて開催されました。

昨年の大会は天候不良により延期となり、日程変更のため出場出来なくなった方がおられましたので、私自身、予選では結果を残すことができていませんでしたが、運良く、次点にて繰り上がり、2度目の大会出場を果たすことになりました。

1回戦…

初めて渡磯した、和歌山の目良磯、1回戦から前回大会のシード選手との対戦…。何とか1匹と試行錯誤をしながら竿を出しましたが、両者ともに釣果がないまま終了。規定によりジャンケン大会にて2回戦に進むことができました。

2回戦…

これまた、一流メーカーのテスターさん2名との対戦となりました。開始直後は、竿先の駆け上がりにポイントを絞り、そこを集中に撒き餌を打ち込み、全誘導仕掛けで探ってみました。釣れてくるのは、ベラ、ガシラ、オマケに根掛かり…。とリズムの悪い釣りになってしまい、釣果がないまま前半終了。1回戦同様、ジャンケン大会が頭をよぎりましたが、全体的に浅い！と思い仕掛けを半誘導に変更し、手前のポイントを諦めて、沖に少しだけ潮がヨレてる所があったので、そこを目掛けて…投げられるだけ大遠投！これが良かったのか、立て続けに釣る事ができました。2枚ずつの同匹数であり、これで勝負あったか！と思いましたが、検量の結果、運良く私の方が重量あり、いざ！決勝戦へ！！



決勝戦…

2回戦の教訓を活かして…初めから、半誘導約2ヒロにジントンを段打ちし軽い仕掛けで、遠投！オキアミや、練リエサのローテーションを繰り返しますが、反応が良くないまま、1セット、2セットと、私だけ釣果なし…。3セット目に入り、ようやく1尾…バラシ…1尾とバタバタした釣りとなりましたが、なんとか匹数で追いつく事ができました。4セット目に、仕掛けの馴染みが良くない…と思い、G5を1つ追加して、3段打ちに…これが功を奏したのか連発となりました。小さなオモリ1つの重要性を再認識した瞬間でもありました。その結果、逆転する事ができ、優勝する事ができました。

優勝がわかった瞬間から…今まで、ご指導頂いていた諸先輩方々の笑顔や、仲間達の声が聞こえてきたようで、ポロリと涙がこぼれ落ちそうになった事は恥ずかしくて、言えませんでした。

最後の最後まで…何が起こるかわからない。気の抜けないピリピリしたトーナメント大会。錚々たるメンバーの皆様の胸を借りして、一生懸命に釣りをした結果、どこからともなく現れた、ダークホースとなる事ができて大変嬉しく思っております。来年は連覇を目指し、マグレと言われたいよう、さらに精進していきたいと気を引き締める思いです。

今大会の運営等段取りしていただいた、役員の皆様、御協賛いただきましたメーカー各位、安全に渡磯していただきました目良渡船様、参加された選手の皆様、本当にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。